## アネシス茶屋ヶ坂

施工

No. 10-065-2020作成

新築 集合住宅

発注者 清水建設株式会社

設計·監理

SHIMIZU CORPORATION

清水建設株式会社一級建築士事務所

清水建設株式会社

カテゴリー

E. リニューアル

A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO。技術 C. 各種制度活用

D. 評価技術/FB

G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携

F. 長寿命化 K. その他 I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性

### 木の香る都市づくりを実現する"木質ハイブリッド集合住宅"

#### 都心住宅街に木の温もりを創出

名古屋市の住宅街に建つ社宅の建替計画において、建物の木造化、木質化を積極的 に推進し、街の木質化を図った。子育て世代が入居する施設として、木と触れ合い、 木の温もりに包まれた住まいを目指し、構造及び内外装の木質化を進めた。 地震、火災に安全・安心な木造建築、木質空間による健康・快適な暮らし、木材 利用促進による地球環境への配慮を実現した、木質ハイブリッド集合住宅である。

#### ベストミックスなハイブリッド建築

中高層耐火建築物の集合住宅の木質化を実現するために、木と鉄筋コンクリート の特性を活かしたベストミックスなハイブリッド建築を考案した。地下1階駐車場 の柱を免震化した柱頭免震構造を採用し、耐火木柱・木梁、及び高耐力CLT耐震壁、 RC-CLT合成床など各種木質構造部材を適材適所に活用するため、各種技術開発、 実証実験を行った。これにより、集合住宅としての耐震性、耐火性、居住性、 遮音性を合理的に実現可能とした。



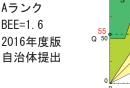


高耐力CLT耐震壁



高耐力CLT耐震壁

CASBEE評価 Aランク



北側外廊下外観



テレワークルーム



住戸内観 スリム耐火ウッド(1 時間耐火の柱・梁 , RC-CLT 合成床版 柱頭免震

木質ハイブリット集合住宅の架構モデル

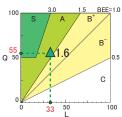
建物データ

階数

所在地 愛知県名古屋市 竣工年 2020 年 1. 864m<sup>2</sup> 敷地面積 延床面積 3, 211m<sup>2</sup> 構造 木造、RC造

地下1階、地上4階

BFF=1.6 2016年度版



#### 平面計画

2 住戸からなる住戸ユニットがメカニカルコアを挟み込む平面構成と した。住戸水廻りをCLT耐震壁のあいだに集約配置して、スケルトン& インフィルを実現し、将来更新性を向上させた。1階にはテレワーク ルームを設置し、多様な働き方の場を提供すると共に、免震建物を 活かし、発災時にはBCPサブ拠点としても機能する各種設備対応を 整えた。

#### スケルトン&インフィル

将来的な更新、メンテナンス性のため、共用配管、設備関係はメカ ニカルコアに集約配置した。これにより、住戸内レイアウトの将来的 なフレキシビリティを向上させ、持続可能な住宅を提供した。日常の メンテナンスは住戸専有部を経由しない、共用階段からアクセス可能 な計画とした。

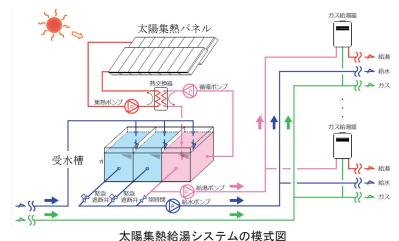
#### 木の温もりを惹きたてるLED照明

無機質な景観になりがちな都市の住宅街において、夜間は木質素材を 一層際立てるライティング計画を行った。建物に住む人だけでなく、 街を行き交う地域の人々に対しても、木の温もりの良さを改めて感じ させる木質ハイブリッド建築は、潤いある周辺地域環境を創出する 先導的事例である。

#### 省エネと創エネを実現する設備計画

建物に導入する24時間換気分の外気をキッズガーデン地中に埋めた アースチューブに通し、夏は冷却、冬は加熱可能なシステムを採用した。 年間を通じて全館の空調による電気使用量の削減を図った。

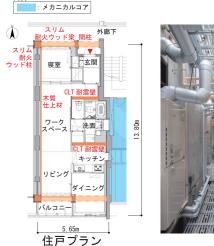
また、受水槽上部に太陽集熱パネルを設置し、太陽熱をガス給湯器の 予熱に利用した。年間を通じて全館の給湯によるガス使用量の削減を 図った。



#### 設計担当者

統括:新間英一/建築:佐々木喜啓、長濹怜、日比野加奈/構造:内本英雄、広瀬暑一、横井義彦、 上原大輔、増田陽輔、南口真一、貞広修、木村誠、南博之/設備:大野智之、水原一樹、西村秀生、 福島康維 杉浦亜由美 阿津地啓充 櫛野幸人

# CLT 耐震壁 - 2階 RC-CIT 合成床



南面夜景

基準階平面図

メカニカルコア



南面鳥瞰

#### 主要な採用技術(CASBEE準拠)

- Q2. 3. 対応性・更新性(スケルトン&インフィル、メカニカルバルコニー、設備の更新性)
- まちなみ・景観への配慮 (建物配置や形態のまちなみとの調和、新たなシンボルの形成)
- 自然エネルギー利用(自然換気、自然採光、地熱利用、太陽光利用)
- 設備システムの高効率化(LED照明、全面床吹出空調) LR1. 3.
- LR3. 1. 地球温暖化への配慮(LCCO2削減)
- LR3. 3. 周辺環境への配慮(外装の木質化)